

住民対話討論会 余野川ダムについて

国土交通省
近畿地方整備局
猪名川総合開発工事事務所

1

河川法の改正の流れ



近代河川制度の誕生

治水

治水・利水の 体系的な制度の整備

- 水系一貫管理制度の導入
- 利水関係規定の整備

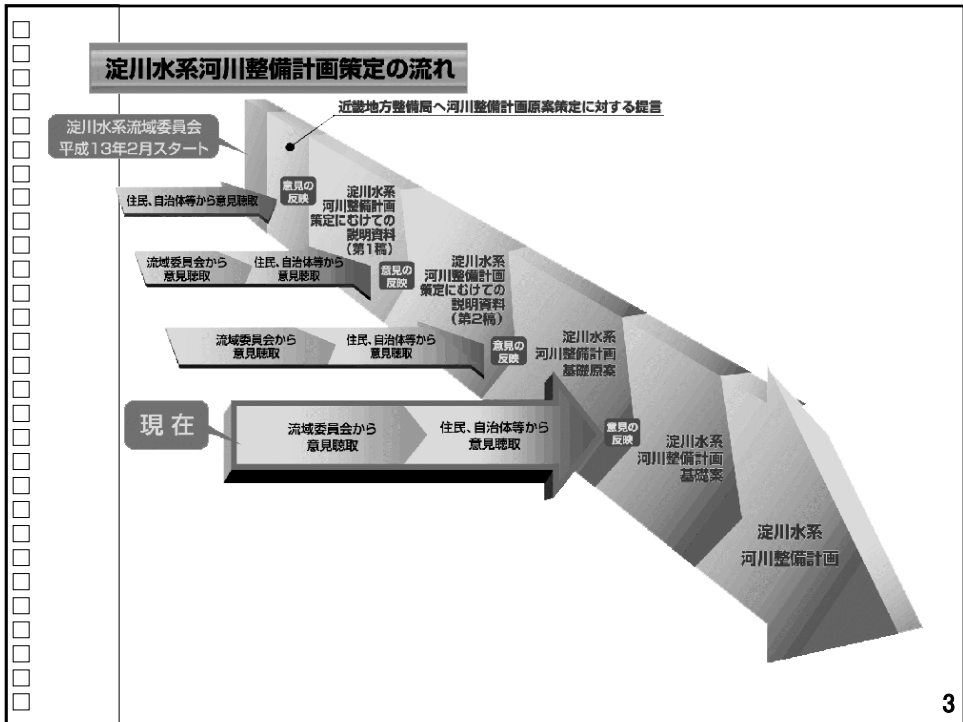
治水 + 利水

治水・利水・環境の 総合的な河川制度の整備

- 河川環境の整備と保全
- 地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入

治水 + 利水 + 環境

2



淀川水系流域委員会 提言(030117版) (抜粋)

4-6 ダムのあり方

ダムは自然環境に及ぼす影響が大きいことなどのため、原則として建設しないものとし、考えうるすべての実行可能な代替案の検討のもとで、ダム以外に実行可能で有効な方法がないということが客観的に認められ、かつ住民団体・地域組織などを含む住民の社会的合意が得られた場合にかぎり建設するものとする。地球温暖化による気候変動や社会情勢の変化などの不確定要素に対しては順応的に対応する。

4

河川整備計画基礎原案(平成15年9月5日) (抜粋)

5.7.2 各ダムの調査検討内容

(5) 余野川ダム

- 1) 狭窄部上流多田地区の浸水被害を早期に軽減するため、既存調節池の活用、既設一庫ダムの放流操作変更、堆砂容量の活用や利水容量の振り替え及び新たな遊水地の設置が有効である。
- 2) 既設一庫ダムの利水容量の振り替えのための貯留施設として余野川ダムが有効である。
- 3) 余野川ダムは下流部の浸水被害を軽減する効果がある。

5

河川整備計画基礎原案(平成15年9月5日) (抜粋)

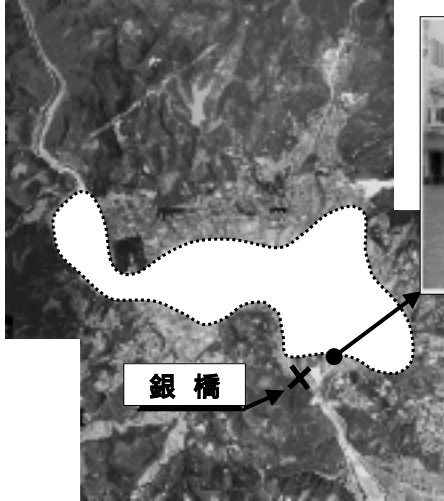
余野川ダム計画について以下の調査・検討を行う。

- 1) 代替案に関して、さらに詳細な検討を行う。
- 2) 余野川ダムの貯水池規模の見直し並びに余野川ダム及び一庫ダムの貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等の諸調査を行う。
- 3) 土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行う。
- 4) 利水について、水需要の精査確認を行う。

6

狭窄部上流の浸水被害の解消

狭窄部上流の浸水常襲地帯(多田盆地)



S58.9出水の浸水実績

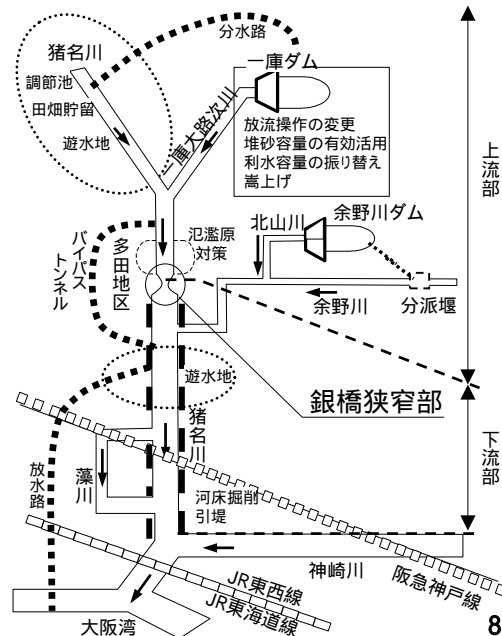
猪名川の浸水被害軽減対策案 調査・検討

狭窄部上流対策案

- ・貯留施設の活用
- ・田畑の貯留機能
- ・一庫ダムの放流操作の変更
- ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダムの利水容量の振り替え
- ・一庫ダムの高上げ
- ・分水路の設置
- ・新たな遊水地の設置
- ・氾濫原対策 等

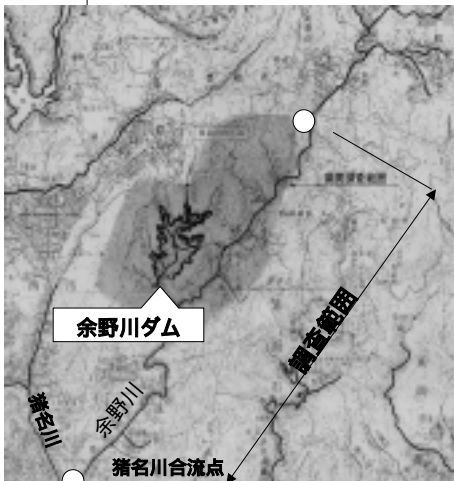
猪名川下流部対策案

- ・河床掘削
- ・引堤
- ・一庫ダムの高上げ
- ・遊水地
- ・放水路
- ・余野川ダム 等





余野川ダムの環境調査・検討



ダム事業地周辺の環境調査項目

- ・気象、水質等の経年的継続調査の実施
- ・動植物の補足調査の実施
- ・現況河道状況調査の実施
- ・大気等環境調査の実施

考えられる環境への影響と軽減策の検討項目

- ・生態系や動植物
- ・貯水池や下流河川の水質
- ・土砂移動の連続性
- ・ダム下流の流況(攪乱機能)
- ・周辺の景観
- ・工事の実施による騒音・振動・大気汚染等